

選考委員賞

地球温暖化と向き合う二十年

赤坂中学校 猪俣 優希

森林の減少・地球の平均気温の上昇・酸性雨・最近の世界共通の問題の原因は大体「地球温暖化」だと思う。

英語の教科書にセヴァン・カリスⅡスズキさんという人についての文章があった。彼女は一九九二年にリオデジャネイロで開催された「地球環境サミット」に12才で参加しスピーチを行った人だ。彼女がスピーチを行ったのが、今から二十年前。なのになぜ問題は解決していないのだろうか。

地球全体の問題をたった二十年で解決できるとは思わない。だが、その二十年の間に改善ではなく悪化してしまっているのではないかと私は思う。その理由は何か。

私が考えたのは、技術の進歩だ。技術の進歩によって過去に公害問題が起きてしまった事があるが、それとはまた違う。この二十年間で世界の技術は大きく進歩した。その事によって生活も変わったと思う。昔よりも電気などを使う事が多くなったし、自動車も世界全体では数が増えた。これは生活が便利になったのと同時に環境が悪くなってしまった原因の一つでもあると思う。

だが、技術の進歩によつて環境に良い製品が増えてきているのも事実である。自動車も今はエコカーにする人が多いし、家電などにも「省エネモード」がついているのが当たり前である。それでも地球温暖化が今もこうして進んでいくのはなぜか。

理由は私達がまだまだ新しい技術を上手に利用しきれていないからだと思う。いくら発達した技術があっても利用できなかったら意味がない。また、省エネ製品を使用したり、ちょっと節電したくらいで満足して今までとあまり変わらない生活を送ってしまっている人も少なくないのではないだろうか。それでは今私達が出来る事は何だろう。

もちろんこまめな節電を毎日続ける事など今からでもすぐに出来る事も沢山ある。それを他の人達にも広げていけば大きな成果が得られるかもしれない。また、先にも述べたように新しい技術を使いこなし、小さな事で満足せずに活動を継続的に進める事も重要だと思う。

二十年後の世界を今よりも環境問題の少ない世界にする為には私達、地球上

に住む人々がどれだけ頑張れるかにかかっていると思う。地球環境を悪くしてしまったのは私達人間である。今、地球を守る事ができるのも、壊す事ができるのも人間だけだ。一人一人が自分の行動に責任を持って生活する事が「地球温暖化」を防ぐ事なのではないだろうか。

講評

リオから二十年、環境はますます悪くなっている、温暖化は止まらない、しかしようやく新技術が確立した、これからの二十年、さらに新技術の活用が期待できる。自らも、地球温暖化を防ぐ一員としての努力を誓っている、素晴らしい作文です。